

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		滝沢地域福祉事業所 放課後等デイサービス おおぞら		公表日				令和8年 2月 26日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	改善目標、工夫している点など		
環境・ 体制 整備	①	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	3	5			狭い。利用者の年齢もあがり、体格も良くなっている為、定員数に適切であっても狭い。 2部屋に分かれ児童を見ている。 子ども達の成長もあり、活動スペースは狭く感じる。 活動内容により部屋分けを工夫		
	②	職員の配置数は適切であるか	5	3			新規利用者が増えて、状況も変わっており、1対1で対応せざるを得ない状況もある。 業務支援システムを活用している。 適切である。 時間帯により手薄になってしまう事あり		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	1		可能な範囲で行っている。 段差のある場所にはスロープを使用している。 スロープあり。 スロープ等で対応。		
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2			日々のミーティング、ケース会議等で意見を出し合っている		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8						
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	2			公開している。		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	1	1	外部評価は行っていない。		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8				岩手県または組織内での研修への参加。 Web研修、外部研修、施設内研修を定期的に行っている		
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1					
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1					
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8				ケース会議やミーティングにて話し合っている。 ミーティングでその日の活動内容を話し合っている。 ミーティング時に話し合い決めるようになった。 行事計画作成し行えている。		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8				毎日のミーティングにてプログラムを決めている。 ミーティング等で案を出しあい工夫した活動計画を立てている		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8				長期休みには行事内容を全員で考え支援につなげている。		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	8						
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1			ミーティングを行っているが、十分ではないと感じる。 13:00頃開始。 支援前には車両チェック、その日の送迎、支援内容の確認している。		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	1		ミーティングを行っているが、十分ではないと感じる。 毎日行えている。 できている日、できていない日がある。		

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	1			日によって記録の取り方にばらつきがある。 その都度記録として残している。 ケア後に記録し、細かく検証できている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8				ケース会議で計画の振り返りをしモニタリングを行っている。 6か月に一回実施。 モニタリング報告の共有をしスタッフ間で共通認識を持っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7	1			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	1			学校によって対応が違う。保護者から伝えられていると考えている学校もあった。年度初めに下校時間等についての情報共有方法の確認が必要。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	6		1	受け入れていない。 医療的ケアが積極的に必要な児童がいない。 現在対象者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3			就学前の利用者に対しては園との情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	6			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	3		今年は行っていない。 親子レクにて兄弟等が参加している。 交流の機会はない。 今年度はできていない。 一度行っていたが機会を設けられていない。 数年できていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	1		
	㉘	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1			送迎時に申し送りをしたり、メモなどですぐに共有し状況を伝えている。 予定している。 提供記録や送迎時の申し送りなどで情報提供している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	5			親子レクを行っている。 申し送り等で必要な時に行っている。 定期的な面談や、日々のやり取りの中で行っている。
保護者への説明等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8				
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1			
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3			保護者同士の連携の支援までは出来ていない。 滝沢地福全体で保護者会を行った。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8				おおぞら便りを発行し日々の様子を発信している。 おたより発行、インスタグラムで様子等、発信している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	8				

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8				
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	4			チラシ配布等で周知。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1			
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1			自然災害の発生を想定し、定期的に訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				虐待防止委員会を設置し委員会を年2回行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8				どのような時に身体拘束を行うか保護者へ説明している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4	1		保護者から控えてほしいと伝えられているが、医師からの指示書はない。 対象利用者がいない。 保護者さんより指示。 保護者からの指示はあるが医師の指示書はなし。 保護者が医師から受けた情報を得て対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8				団会議等で共有している。 事業所だけでなく、地福・第三者への共有も行っている（委員会開催）